

最新の米国知財

～IPR重要判決 (Oil States, SAS, Aqua)、

2018年度 国際第一委員会 (計5
WG活動テーマ: 米国知財に関する

WG1: 研修・テキスト改訂

「米国特許をうまく取得する方法」

臨時研修開催・テキスト改訂

WG2: 裁判地戦略

TC Heartland最高裁判決等の

重要判決が与える裁判地戦略への影響

WG3: 自明性判例研究

クレームの数値限定が先行と重複しても

非自明性は認められるか?

その他活動内容 (今年度実績)

- USPTO元長官、メキシコ産業財産庁長官来日時のご意
- ユーザー団体 (AIPLA、IPO) との会合 (4月、11月)、
- 「米国特許をうまく取得する方法」「米国侵害訴訟実務
- 知財管理誌「外国特許ニュース」執筆 (毎月)

動向を発信!

新USPTO長官による変革等～

1名体制)
調査・研究

小川委員長



WG4: IPR中のクレーム補正

Aqua判決がIPRにおける

クレーム補正の実務に与えた影響は？

WG5: eBay差止基準

終局的差止命令について

近年の容認基準の変化を探る

WG6: 審査品質

「非特許文献の引用、サーチ」の

観点でデータ分析、提言

見交換会 (6月)

USPTO・日米ユーザー団体合会@ワシントンD.C.(10月)

マニュアル」研修実施 (随時)